

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	25-554
研究の名称	小児上腕骨顆上骨折術後の肘アライメントに関する後ろ向き観察研究 Medial Collapse Sign as a Predictor of Postoperative Cubitus Varus in Pediatric Supracondylar Humerus Fractures
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026年 03月 31日
試料・情報の利用を開始する予定日	2026年 2月 24日
研究の対象	2016年 1月から 2024年 3月までの期間に、当院で肘の骨折（小児上腕骨顆上骨折）の手術を受けられた0歳から15歳までの方
研究の目的	この研究では、肘の骨折の手術を受けたお子さまについて、手術後のレントゲン写真とその後の肘の状態を振り返って調べます。 得られた結果を、今後の治療をより安全で良いものにするために役立てることを目的としています。
研究の方法	本研究は、これまでに当院で行われた小児上腕骨顆上骨折の手術後の診療情報やレントゲン画像を用いて、手術直後の骨の位置と、将来的な肘の変形との関係を調べるものです。
研究に用いる試料・情報の種類	試料：本研究では、新たな試料の採取は行いません。 情報：電子カルテに記載されている診療記録、年齢、性別、受傷日、診断名（上腕骨顆上骨折）、骨折分類、手術記録（手術方法、ピン本数、ピン配置など）、術前・術直後・経過観察時のレントゲン画像、術後経過および合併症の有無、最終観察時の臨床評価結果等
個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

お問い合わせ先	<p><当院の連絡先> 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：整形外科 研究責任者：池田 将吾 住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 TEL：072-272-1199(代表)</p>
---------	---

作成日：西暦 2026年 1月 5日 (1版)